競技注意事項

1　競技は２０１６年日本陸上競技連盟規則および本大会要項による。スターターの合図は、小学生は日本語、中学生以上は英語とする。不正スタートについては、以下のように扱う。
（１）１回目フライングで失格（新ルール）を適用しない。２回目のフライングは誰でも失格になる。
（２）全トラック種目において、同一競技者による３回の不適切行為は失格とする。
（３）（１）（２）のどちらにおいても不適切行為を判定し、２回の不適切行為で１回のフライングとみなす。

2　招集はトラック・フィールド競技ともに３０分前開始２０分前終了とし、招集所で点呼を受ける。

3　トラック競技の出場者は、腰ナンバー標識を右腰につける。中学生・高校生は各自用意し、その他の競技者は、招集所で点呼の際に受け取る。なお、８００ｍ以上の競技については、すべて主催者側で用意する。

4　８００mのスタートは全てオープンとする。５０００ｍのスタートはグループスタートとし、フィニッシュはアウトレーンフィニッシュとする。

6　走高跳のバーのきざみ方は次の通りとする。
中学校男子：練習１ｍ２０、１ｍ２５～１ｍ５０まで５㎝きざみ、以降３㎝きざみとする。
中学校女子：練習１ｍ１０、１ｍ１５～１ｍ３０まで５㎝きざみ、以降３㎝きざみとする。
一般高校男子：練習１ｍ６０、１ｍ６５～１ｍ８５まで５㎝きざみ、以降３㎝きざみとする。
一般高校女子：練習１ｍ３０、１ｍ３５～１ｍ５０まで５㎝きざみ、以降３㎝きざみとする。

7　走路は全天候のため、９㎜以下のスパイクを使用する。ただし走高跳は１２mm 以下のスパイクを使用する。スパイクの先端が鋭利なものを使用しても構わない。

8　投てき用具については、主催者で用意する。ただし、やりのみ、検査を受けたものに限り使用を認める。検査は、競技直前に競技場所で行う。

9　リレーのオーダー用紙は、招集完了１時間前までに総務に１部提出すること。

10　アップの場所については、１２：４０まで競技場の使用を認める。ウォームアップ場は、円盤投の会場とするため競技中バックストレートでの練習を認める。ただし、４００ｍ以上の競技が行われる場合は十分注意すること。また、ウォームアップ場やその周辺をアップで使用してもよいが、投てき練習は行わないこと。

11　フィールド競技は、第１曲走路内側をＡゾーン、第２曲走路内側をＢゾーン、バックストレート外側の走幅跳ピットをＤゾーンとする。

12　スタンドの使用については、次のようにする。
（１）正面スタンドでは、テントの使用はしない。
（２）正面スタンドの前の手すりや国旗掲揚塔前に横断幕をつけない。
（３）正面スタンドでは、中学校・高校は後ろ半分を使用し、前方部分を観客のために空けておく。

13　応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は総務に連絡すること。競技場での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。

14　各競技３位まで賞状を授与する。

15　ごみは、各自・各校で持ち帰り、トイレなど、マナーよく会場を使用すること。